

My First Question

ぜんぜんわかってるの？



今月から始まるこの連載。「パソコンもインターネットも始めたばかりでよく分からない!!」という女性たちが、ギョーカイのエライ人に素人ならではのぶしつけな質問をしてしまうという突撃企画だ。素朴すぎるほど素朴な質問に、プロフェッショナルはどう答えてくれるのか? お楽しみに!

Illustr: Kido Satoko

尾形: パソコンは電源入力ボタンと終了ボタンがまったく別の場所にありますよね。どうして普通の家電のように1つのスイッチでオンオフができないんですか?

パソコンのスイッチは
どうして簡単に切れないの?

古川: 普通の家電製品だと、電源スイッチを切って操作を終了します。でもパソコンの場合には、ソフトウェアでパソコンの仕事をおしまいにするというをしているのです。

だって、パソコンで作業をしている最中に電気が切れてしまうと、そのデータが途中で台無しになるという場合もあるから。終了する時には、ソフトウェアが自分ですべての仕事をきれいにたたんでから、さよならするというをしている。だから簡単に電気のスイッチを消せば終わりということにならないんだ。

でも、これからウィンドウズ98の時代になると、今までのように途中で電源スイッチを切るとデータなどが壊れてしまうということがなくなる新しいハード規格も登場するから安心してください。

また、これからはパソコンを使うのは人間だけではなく、パソコン以外の家庭の中の道具だとかオフィスの道具が、勝手にパソコンのスイッチを入れて、パソコンを使って、また電源を消して帰ってくるということができるようになってくるでしょう。

たとえば、オフィスで新しいソフトを一齐に導入するときに、今のようにフロッピーやCD-ROMを配布して1台ごとにセットアップしたりするのは大変ですよ。それが、夜中の間にネットワークを通じて他のコンピュータから新しいソフトが送られてくると、パソコンが勝手にスイッチオンになり、最新版のソフトを入手して、また電気を切ってくれる。で、朝になって人間がパソコンのスイッチを入れると最新ソフトに更新されているというようなことは、もう現実のものになっています。



今月の質問に答えてくれる人



古川 亨 (ふるかわ・すすむ)氏

マイクロソフト株式会社代表取締役。言わずと知れたウィンドウズ95を作った会社のエライ人。ノートパソコンを颯爽と持ち歩くのがまぶしい。

今月の質問する人



尾形 雅子さん (31歳 OL)

OL歴は長いですが、パソコン歴はまだ短くて、勉強中です。うちにあるのはマッキントッシュなので、会社のウィンドウズマシンに四苦八苦です。



山本 由紀子さん (27歳 OL)

パソコンは2年ほど前から、会社で使うようになり、昨年夏に自分でも購入しました。インターネットで自分の見たいページを探すのに苦労しています。



椿 千明さん (25歳 主婦)

パソコンを購入したばかりなのにすごい方にお会いすることになって、とても緊張しています。

椿: どうしてウィンドウズ95のマウスは2つボタンがあるの? マッキントッシュは1つなのに...

古川: 一通りの仕事は、一応マウスの左ボタンだけでできるようにデザインしてあるのね。でも、いつか使い方が慣れてきて、「もっと高度なことをやりたいな」と思った瞬間に、ふっと右側のボタンを押してみてください。「こんなものがあつたらいいのに」という機能が、そちらのボタンに割り当ててあります。

僕もウィンドウズ95を利用する場合に、3年目に初めて「こんな機能が入ったのが、ガン!」ということがあつたりします。そういう時は、たいてい右側のボタンを押してみると出てくる。だから、ある程度使いこなしてくるとボタンが2つあつたほうが便利になってくる。1つしかないのは、できることの限界がすぐ見えてしまうかもしれない。

そうそうちょっと余談だけど、マウスの右、左のボタンが分からない、というのは少なくとも基本機能は理解した高度な質問ですよ。

「マウスを動かすと画面が見えない!」とすごく怒っていた人が電話をかけてきて、その人が何に困っていたかとい

うと、マウスをモニター画面の上に

どうしてウィンドウズ95のマウスは2つボタンがあるの? マッキントッシュは1つなのに...

黒板拭きみたいに押しつけていた。それから、「マウスを使うと思った方向と反対に動く」と怒っていた人は、マウスのしっぽが腕のほうに伸びていた。「なんでそうやってつかみました?」聞くと、「だってねずみを捕まえるとき、こう捕まえるでしょ」だって。頭からつかんだら、噛まれてしまいますよってね。



山本：古川さんのお気に入りのホームページって何ですか？ あと、一日何時間くらいネットサーフィンをしているんですか？

古川さんのデジタルライフについてちょっと質問です。

古川：自分自身の“お気に入り”の項目には、400～500くらいたまっているのかな。

僕、鉄道模型が趣味なんですけどね。いつも使っているのは、インターネット経由でデンバーの模型屋さんが「今週こんなのが入りましたよ」という新商品情報をくれて、注文すると、3日後には国際宅急便で品物が届くというページ。今までそういうものを調べに行こうと思ったら、半年に一回とか現地に出かけて行って、たまたま掘り出し物があったら即購入するということができなかった。それが、今は鉄道模型のためだけのページがあって、それで情報交換したり、売り買いまでできる。今まで縁遠かったものが、どんなジャンルでも気軽に手に入るようになったのは非常に面白いことじゃないかな。一日オフィスにいるときはインターネットは接続しっぱなしで、一日6～8時間くらいは見ている。自宅にいるときは2時間弱くらいといったところでしょう。

尾形：愛用のアプリケーションソフトはありますか？

古川：便利だなと思って使うのは「駅すぱーと」。鉄道オタクだから（笑）。「駅すぱーと」って、800メートル以内ぐらいは、歩いて乗り継ぎが可能な駅で表示されるのですよね。西武新宿線と中央線で800メートル以内だったら、歩いて乗り継いで行け、とかね。思わぬ経路を出してくるということで、「駅すぱーと」は面白い。あと、フォトショップなんかは、私使わせると上手いですよ。写真を素材として加工する楽しさがある。単にコラージュだけでなく、文字をきれいにふくらませてみようと、へこませようと、陰影を付けるとかが簡単にできていろいろ楽しめますからね。僕自身、工作の好きな少年だったので、素材を加工をする喜びのあるものがいっぱいですね。あと、3次元系のCADなどは、いくつか遊びでさわってみたことがあります。汽車が走っている風景を作って、それをいろんなところから見たりとかしてる。

もっと見たかったらここにアクセス!

女性ビギナーのためのウェブマガジン
My First パソコン
<http://ic.cplaza.ne.jp/>



まだまだ圧倒的に男性ユーザーが多いパソコン。パソコンに興味はあってもなかなかとつきにくい、わかりづらいという多くの女性のための簡単！わかりやすい！楽しいハウツーページがこの「My First パソコン」だ。パソコンを含めたデジタルソフト&ハード、インターネット講座などのトピックスを毎週火曜日更新で、ステップアップ方式で解説。また、本連載の「My First Question ～どうなってるの?」の模様もウェブ上で紹介している。

次号予告!

来月はWebTVの代表取締役である間宮義文さんにお会いします。話題のWebTVってホントに使えるの? セットアップは簡単? 知りたいこととつづりのあのマシンについて激しく迫る予定です。では来月のこのページでお会いしましょう!

山本：今後、コンピュータでどんなことが可能になっていくのですか。今は、使い方が難しいこともあってワープロか電子メールを読んだりするだけにしか使わないんだけど、その割には高価ですし。

古川：これから何が出来るようになるの?

いと撮影できないとか、テープレコーダーじゃないと録音できない、電話じゃないと会話ができない、テレビじゃないと映像を見られないと思っていた過去の定義が崩れて、全部区別がなくなってくるでしょう。たとえば同窓会があったときに、参加した人がインターネットにアクセスをすると、その時に撮影した写真が出てきて、ネットワークを通じて指定すると焼き増しして送ってくれる。写真は撮っても、そこに来てた人に全員に見本を配って、誰が何枚かってチェックを付けてもらって、焼き増しを頼んでそれを発送するという手間は、すごく面倒ですよ。

でも、それが自由にパソコンやテレビで見られて、画面で楽しんだり、指示するだけでそれがプリントできるサービスがこれから始まります。指定した写真を切り抜いてハワイの写真の前に貼り付けてそれをTシャツにするとか、コーヒーのマグカップに入れるとかそんなサービスも始まる。

単にデジタル化したからいいっていう話ではなくて、よく撮れた写真だったらみんなで見たいし、ちょっと加工して、Tシャツやコーヒーカップに貼り付けてみたい。そんなことが気軽にできるようになると、たぶん今までの写真を撮るとか、撮った写真をみんなで共用することの意味がどんどん変わってくるんじゃないかな。

パソコンは、そのものが目的ではなく、「パソコンを使って何をしたいか」であると、僕は思っています。たぶん、今パソコンを始めたばかりの人は、「パソコンくらい使えなきゃ」が目的になっていることが多いでしょうね。パソコンがもっと簡単に、使いやすくなっていかなければならないのは、僕ら提供する側の課題ですが、皆さんに心がけてほしいのは、たとえば「自転車に乗れないことが恥ずかしい!」という気持ちよりも、自転車に乗って風を切って走る心地よさを味わったり、自分が行けなかった距離を走れるようになりたいと思うこと。道具そのものにひきずられない。何をしたいのかということ突き詰めていくと、面白いことが開けてくるでしょう。

古川さんいかがでした?





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp